



### 多摩のふるさと のぞいてみる？

- 2 多摩ふるさと資料館へGO！
- 3 聖蹟桜ヶ丘 多摩川河川敷が変わる。
- 4 まちづくりからはじまる多摩センターのまちづくり・ひとづくり
- 5 子ども・若者関連情報
- 6 子ども・若者関連情報、ハロウィン in 多摩センター
- 7 いきいきシニア、多摩市立図書館50周年記念イベント
- 8 あなたの望む「最期」を知っている人はいますか？
- 9 10月は「食品ロス削減月間」です
- 10 市民参画、市政その他のお知らせ
- 11 テレビ・映画で出会う街 多摩、第46回多摩市民文化祭
- 12・13・14 講座・催し物
- 15 健康だより(受診相談など)
- 16 命の大切さを考える～被害者のためにできること～

#### 市長コラム 多摩の風 第117回

あれから38年。バスケットボール日本男子はパリ2024オリンピックへの出場権獲得、ラグビー日本代表は予選突破目指し、ワールドカップで奮闘、東京ヴェルディもJ1昇格を目指し激闘、ともかく一戦でも勝ち抜いてほしい。日本シリーズも「アレ」!?

(多摩市長 阿部裕行)

あの年、ランディ・バースは三冠王に輝き、MVPに。岡田はシーズン35本塁打。そして四番の掛布雅之が阪神を日本一に牽引。

吉田義男監督は「動揺するのは分かる。しかし、こういう日だからこそ、何が何でも勝とう」と選手に檄を飛ばしましたが、社長を失った阪神ナインの衝撃は大きく6連敗。当時、選手会長だった28歳の岡田彰布は、全選手による緊急ミーティングを開き、選手たちの猛虎魂に火をつけました。

さて、私の中で、阪神と言えば、昭和60年4月17日の対巨人戦の試合です。バース・掛布・岡田によるバックスクリーン3連発は忘れられません。ですが、その年の夏、阪神タイガースの中堅投手団社長は、御巢鷹山に墜落した「日本航空123便」に搭乗していました。

「阪神18年ぶりV」虎党にとつて歓喜の「アレ」正夢に。この夏、多摩の子どもたちも頑張りました。FC多摩ジュニアユースは、北海道で開催された「第38回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会」で見事、日本チャンピオンに輝きました。優勝候補のヴィッセル神戸はじめ並いるクラブチームをなぎ倒しての勝利です。本当におめでとう!!

